

事業コード	H19-建-継-04		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道道路改築費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	二次改築(現道拡幅)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2493
路線名等	一般国道107号		担当課長名	加藤 修平
箇所名	由利本荘市鶴舞～松街道(本荘道路)		担当者名	伊藤 茂
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H27 (17年)	総事業費	110.0億円	国庫補助率	5.0/10	
事業規模	延長 L = 2,000m、幅員 W = 13.0(25.0)m					
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、岩手県大船渡市を起点として北上市、横手市を経て秋田県由利本荘市に至る198kmの幹線道路であり、日本海側と太平洋側を結ぶ産業、経済の交流に重要な役割を果たしている路線である。</p> <p>当該区間は、H17年度現況交通量は17,269台/日で混雑度が1.89と高く、旅行速度は20.4kmと低く渋滞対策区間となっている。</p> <p>また、今年度9月17日近隣に日本海沿岸東北自動車道「仁賀保～本荘」、「本荘～岩城」間が開通し、本荘市街地と高速交通拠点の更なるアクセス強化が図られる。</p>					
事業目的	<p>中心市街地の活性化(混雑度1.89) 物流の効率化の支援(本荘IC・大内JCT)</p> <p>日本海沿岸東北自動車道本荘ICへのアクセス強化</p> <p>安全な生活環境の確保(事故率220件/億台キロ)</p> <p>道路の防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送路)</p> <p>費用便益比 B/C = 3.91</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	11,000,000	11,000,000	0		
	経費内訳	工事費	3,286,145	3,286,145	0	
		用補費	6,851,950	6,851,950	0	
		その他	861,905	861,905	0	
	財源内訳	国庫補助	5,500,000	5,500,000	0	
		県 債	2,200,000	2,200,000	0	
その他		0	0	0		
一般財源	3,300,000	3,300,000	0			
事業内容	調査・設計、改良工、橋梁工、舗装工	調査・設計、改良工、橋梁工、舗装工				
事業の進捗状況	今年度末、用地買収面積が56%となる見込みである。					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	あきた21総合計画における「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業。 日本海沿岸東北自動車道(岩城IC～仁賀保間:H19.9.17供用済み)					
情勢の変化及び長期継続の理由	平成17年3月22日に本荘市外7町が合併し、由利本荘市となった。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	改良率(改良済延長/実延長)				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	91.2 %		データ等の出典	道路現況調査	
	実績値 b	92.4 %				
達成率 b/a	101.3 %		把握の時期	平成19年8月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	<input type="radio"/> 特になし
	②指摘事項への対応
	<input type="radio"/> 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<input type="radio"/> 第2次緊急輸送路であり、他に競合する路線が存在しない。 <input type="radio"/> 当該区間は混雑度は1.89で通学路指定区域でもあるため早急な改良が必要である	10点
緊 急 性	<input type="radio"/> 本路線は、県の主要プロジェクトである「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」の計画路線であり、市町村合併の支援道路としての機能も有する。	15点
有 効 性	<input type="radio"/> 緊急輸送路の指定路線であり、災害や救急医療施設のアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。	28点
効 率 性	<input type="radio"/> 事業の費用便益比は3.91であり効率性は高い。 <input type="radio"/> 計画交通量も5,000台/日以上となっている。	18点
熟 度	<input type="radio"/> 今年度、用地買収面積が5.6%となる見込みである。	13点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) 「有効性」が特に高い点数となっており、県の地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」として位置づけられており、整備後の有効性も高いことから引き続き実施すべきである。	84点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

--

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H19-建-継-04)
箇所名 (由利本荘市鶴舞～松街道 (本荘道路))

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし 道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≧1.0 ・現道の旅行速度≦30km/h ・現道の事故率≧50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	3箇所以上	8	0	2次改築事業については該当しない。 2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点	
		2箇所	5			
		1箇所	3			
		0箇所	0			
		5件該当	7			
		4件該当	6			
		3件該当	5			
		2件該当	4			
		1件該当	2			
		該当項目なし	0			
計			15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等 関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業 市町村合併支援道路 特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	5		
		なし	0			
		位置づけあり	5			
		位置づけなし	0			
		あり	5			
		なし	0			
計			15	15		
有効性	道路の位置づけ 緊急輸送路 県内90分交通体系、全国1日交通圏等に 社会変化による事業の必要性	第1次輸送路	10	8		
		第2次輸送路	8			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
		あり	10			
		なし	0			
効率性	事業の投資効果等 費用便益比 (B/C) 計画交通量 コスト縮減 事業中止による影響	1.0以上	5	5		
		1.0未満	0			
		5,000台/日以上 1,000台/日以上～5,000台/未満 1,000台/日未満	5 3 0			
		あり なし	5 0			
熟度	事業の進捗進捗状況 事業の進捗 (事業費) 用地買収の進捗 (面積)	既投資額の損失大	5	18	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
		既投資額の部分的損失	4			
		既投資額の損失が少ない	3			
		計	20			
熟度	事業の進捗進捗状況 事業の進捗 (事業費) 用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	5		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		8割以上完了	10			8
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
		計	20			
合計			100	84		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		